

2025年8月7日
株式会社PFU

町田市との共創活動による、搬入不適ごみ検出（リチウムイオン電池など）に関する2度目の実証実験を開始

株式会社PFU（社長執行役員：平原 英治、以下 PFU）は、株式会社IHI 検査計測（代表取締役社長：中川 博勝）と共同開発中のリチウムイオン電池検知システム（以下、LiB 検知システム）の実用化に向けて、町田市と連携し、町田市バイオエネルギーセンターにて、搬入不適ごみ検出に関する実証実験（2025年8月25日～28日）を昨年に引き続き実施します。

背景

近年、リチウムイオン電池を使用した製品が増加しており、リチウムイオン電池が廃棄される際、不適切な廃棄方法（不燃ごみ/粗大/プラスチックごみ等）で排出されるケースがあります。廃棄物処理施設では、廃棄物を処理する過程で不適切に排出されたリチウムイオン電池が原因による発火/火災が多数発生しており、大きな社会課題となっています。PFUとIHI 検査計測は2024年9月に町田市と連携し、搬入不適ごみ検出に関する実証実験を行いました。前回の実証実験で得られた結果から、さらに検出の精度を高めた試作機で2回目の実証実験を行います。

概要

1. 実証実験の概要

X線検査センサーと廃棄物分別特化AIエンジンを活用した、LiB 検知技術及び有効性に関する検証

(1) LiB 混入の実態調査

○不燃性ごみに混入したLiB搭載製品の種類、数量、重量等を調査

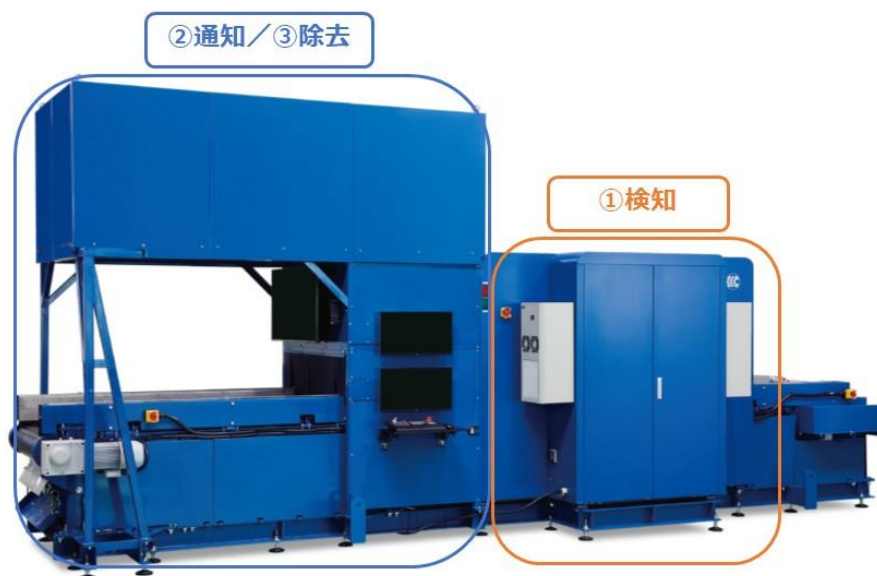
(2) LiB 検知認識率、有効性評価

- LiB 検知システムの検知精度を評価し、不適ごみ検知後の除去作業など、運用含めた有効性の評価
○搬入ごみの種類・形態・処理量や、防水・防塵等の環境条件下における調査

2. 特徴

- (1) 世界シェアNo.1^(注1)のスキャナー開発で培った技術を活用したLiB 検知に特化したAIエンジン
(2) 不燃ごみ、プラスチック、小型家電など、様々なごみラインに対応可能

- ②通知 プロジェクタによる照射 ①検知X線
③除去 危険物回収 X線透過撮影 & 画像認識AI



3. 実証実験場所

町田市バイオエネルギーセンターで行います。



4. スケジュール

2025 年 8 月 25 日 ～ 2025 年 8 月 28 日

注釈

注1：ドキュメントスキャナーを対象とする。日本・北米はKEYPOINT INTELLIGENCE 社(InfoTrends)により集計（2023 年実績）。ドキュメントスキャナー集計より Mobile/Micro を除く 6 セグメントの合計マーケットシェア（主に 8ppm 以上のドキュメントスキャナー全体）。欧州はinfoSource 社（2023 年実績）の集計に基づき、西欧地区（トルコとギリシャを含む）におけるシェア。

お客様お問い合わせ先

株式会社 PFU
事業開発本部 次世代事業開発室 RAPTOR 事業開発部
E-mail : zjp_pfu_raptorvision_g@jp.ricoh.com

報道関係者お問い合わせ先

株式会社PFU
コミュニケーション戦略室 広報部
E-mail : pfu-press@ml.ricoh.com

PFU について

株式会社 PFU は 1960 年に創業し、コンピューター開発で培った技術を基に、イメージスキャナーに代表されるイメージドキュメント関連商品・サービス、並びにお客様の安心安全に貢献する IT インフラの構築・運用支援サービスを提供しています。PFU はお客様の業務プロセス改革・DX に貢献するエッジデバイスを進化させ、それを支えるサービスを提供し、持続可能な世界の発展に貢献してまいります。
詳細は Web サイト (<https://www.pfu.ricoh.com/>) をご覧ください。

リコーグループについて

リコーグループは、お客様の DX を支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約 200 の国と地域で提供しています（2025 年 3 月期グループ連結売上高 2 兆 5,278 億円）。
“はたらく”に歓びを創業以来 85 年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。
詳しい情報は、こちらをご覧ください。
<https://jp.ricoh.com/>

※プレスリリースに掲載されている情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。